

屋外活動時はクモやダニに注意!

ここ数年、新聞などで「セアカゴケグモ」や「マダニ」による被害が報道されています。暖かくなるこれからの季節、屋外活動時は、次のことに注意してください。

- 見つけても、素手で触らないようにしましょう
- 屋外で作業するとき、長靴、軍手などを着用し、首にタオルを巻くなどして、肌の露出を避けましょう
- 野山から帰って来たら、肌や衣服に付いていないか確認しましょう
- 「セアカゴケグモ」は、



毒があるセアカゴケグモのメス



【参考】セアカゴケグモと間違いやすい「ジョロウグモ」。毒はありません

かまれたときの症状と対処方法

● **セアカゴケグモ**
かまれると針で刺されたような痛みを感じ、その後、多くの場合、かまれた部分の周りが腫れて

赤くなります。重症化すると、強い痛みを感じたり、発汗、発熱などが表れたりする場合があります。かまれたら、温水や石けん水で傷口を洗い、医療機関を受診してください。

マダニ

かまれても痛みがなく、気が付かない場合もあります。かまれると、あごが皮膚にしつかり食い込み、簡単には取れません。無理に引っ張ると、あごの部分だけ、皮膚に残ってしまうことがあります。そのため、医療機関（皮膚科）で取ってもらいましょう。

特徴・習性

セアカゴケグモ

メスの体長は約1センチ。全体が黒く背中と腹部に赤色の帯状の模様があり

中には、重症性血小板減少症候群（SFTS）のウイルスなどを媒介するものもいます。かまれた後に、高熱が数日以上続くようであれば、医療機関を受診してください。

本講座でダンボールコンポストをプレゼント

生ごみ堆肥化講座

■問い合わせ先 環境課 ☎(36)1421

市では、平成27年度も「本講座」を受講すると、ダンボールコンポストをプレゼント。平成26年度に受講した人にもプレゼントします。（平成27年度1世帯1セット限り、フォロー講座はプレゼントなし）数に限りあり。いずれのコミセンでも受講可能です。日程などは随時、市広報紙でお知らせします。

- *「本講座」ではダンボールコンポストの使用方法を紹介、「フォロー講座」では実践後の疑問に答えます。「相談会」では、さまざまな相談にのります
- *できた堆肥を使わない場合は、環境課窓口（市役所西館2階）で引き取ります

ダンボールコンポストとは、ダンボール箱の中に基材を入れて、微生物の力で生ごみを分解し、堆肥化するものです。1基で3～6カ月、約50kgの生ごみが処理できます。



【利用者の声】

生ごみが少なくなり、出来た堆肥で野菜作りが楽しみです
(50歳代・女性)

【5月の講座、相談会】* 講座のみ各コミセンに事前申込必要。定員あり

	日程	時間	場所・申込先（月曜日は休み）	☎
本講座	5月8日(金)	10:00～11:30	池野コミセン	(62)2003
	5月10日(日)	13:30～15:00	赤間コミセン	(39)7051
	5月27日(水) 託児付き	10:00～11:30	赤間西コミセン	(38)9506
フォロー講座	5月12日(火)	10:00～11:30	自由ヶ丘コミセン	(32)5594
	5月21日(木)	10:00～11:30	東郷コミセン	(36)7711
相談会	5月13日(水)	10:00～12:00	河東コミセン	(35)1837

● 託児 無料（6カ月以上）

* 託児は、5月19日(火)までに事前申込必要。おむつ（ビニール袋、おしりふき）、着替え、ハンドタオル、お茶、ミルク（湯冷ましも）を持参（持参品には全て名前を明記）

住宅用太陽光発電
設備を設置した人
は申請を

● 内容 平成26年4月以降に契約し、自宅に住宅用太陽光発電設備を設置した人に補助金を交付
● 申込締切日 設置日（九州電力と接続を開始した日）から1年以内
● 予定件数に達した場合、年度途中でも補助が終わる可能性あり
● 詳細は問い合わせ先
● 問い合わせ先 環境課 ☎(36)1421



フタトゲチマダニのオス（岡山環境保健センター提供）

マダニ

体長は、約3ミリ1センチ。春から秋にかけて活動し、ササ類の葉先などに集合して、宿主（鳥動物、人）が通ったときに寄生します。

通常は、3～4日程度の大きさですが、血を吸うと1センチ以上になります。毒はありませんが、吸血時に注入する唾液で、病原体を媒介する場合があります。

毒があるのはメスだけで、オスにはありません。攻撃性のないおとなしいクモで、素手で触らない限り、かまれることはありません。よく間違われるクモとして、ジョロウグモがいますが、こちらに毒はありません。

緑のカーテンを植えてみませんか

緑のカーテンとは、日光が当たる建物や窓などの外にアサガオやヘチマ、ゴーヤなどのツル性植物を、ネットなどを利用して育て、日差しを遮ることで室内温度の上昇を防ぐ方法です。

市では、緑のカーテンコンクールを実施します。詳細は、市広報紙7月15日号でお知らせします。

昨年取り組んだ盛永常美（つねみ）さん（67歳・南郷）は「以前は、よしずを使っていましたが、平成25年からグリーンカーテンをしています。グリーンカーテンがあると見た目も涼しいし、温度も違います」と、効果は抜群のようです。他にも、「朝日を遮って部屋の涼しさを感じる」「ゴーヤは食べられるし、部屋の温度は3℃くらい違うと思う」「涼しさのアサガオの花が楽しみ」と涼しさだけでなく、花や収穫を楽しみに取り組んでいる声が聞かれました。

5月の連休に種まきをして、今年の夏は、緑のカーテンで涼しい夏を過ごしてみませんか。



盛永さん宅のアサガオ

■問い合わせ先 環境課 ☎(36)1421